

# 支援センター だより

栄町住民活動支援センター

1・2月  
合併号

2面…「なるほどキーワード」  
東日本大震災支援 他  
3面…「私これではじめました！」  
4面…インフォメーション

活力あるまちづくりを進める活動の拠点として

2015 No.148

## ◆栄町住民活動支援センターは地域をひらき、つなぎ、つむぐお手伝いをします◆

栄町では住民の知恵と力を集めて地域の課題を解決する住民活動やボランティア活動が活発に行われています。住民活動支援センターは、住民活動やボランティア活動の支援を目的に、様々な情報の発信と場所の提供、出会いや学びの機会づくりに取り組み、まちづくりを進めています。

町民、行政、学校、企業などと連携し、いろいろな人と情報が活発に行き来し、住民活動団体がよりよい成果をあげるためにお手伝いします。ちょっとボランティア募集の掲示などもしています。ぜひお立ち寄りください。

掲示板やHP など情報発信をしています。



活動の PR の場としてご利用できます。



話し合いや交流の場所として  
どなたでもご利用できます。



住民活動をされている方やこれからボランティア活動など活動しようと考えている方からのご相談をお受けします。



コピーや印刷機などを使って、活動団体のチラシや資料づくりの場としてご利用できます。

## ＝改めて今 向こう三軒両隣＝

公益社団法人日本火災学会発表の「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」によれば、阪神淡路大震災時「生き埋めや閉じ込められた際の救助」の自助による救出は家族も含め約65%、友人や隣人、通りがかりの人などによる共助は30%、救助隊等による救助はわずか1.7%に過ぎなかった。震災後、復興に向け神戸市では、自治会・町内会の結成の手引きを作成・配布するなど、共助による街づくりを進めていた。東日本大震災においても平時の信頼関係のありようが、おおきな力を発揮した例もあったという。

市民自治、市民参加、市民協働と大上段に振りかぶる前に『向こう三軒両隣』『遠くの親戚よりも近くの他人』の大切さを忘れず少しずつ共助の輪を広げることが、地域の力の向上に繋がりを、安心安全に過ごしやすい住みやすい地域を創って行くのではないのでしょうか。改めて今、あなたの向こう三軒両隣は？

参照：藤澤市民活動支援センター ニュースレター